

令和3年度第三者評価 改善状況報告書

令和4年3月31日

施設名	港南いきいきプラザ	施設所管課	芝浦港南地区総合支所管理課
所在地	港区港南四丁目2番1号	指定管理者	ピーウォッシュ・太平ビルサービス共同事業体

改善すべき指摘内容等	対応事業者 (共同事業者の場合記入)	令和4年3月までの改善状況等 (指定管理者記入欄)	令和4年4月以降の取組予定 (指定管理者記入欄)	所管課確認欄 (施設所管課記入欄)
<p>利用者が何を望むか、ニーズの高いものに伝えるべく、多様なプログラムを編成し事業を実施しているが、例えば、体力レベルの幅広さに対しては、施設単体での対応にも限界がある。プログラムを提供する側とすれば、体力レベルに合わせた内容での実施の方が効果は高い。どのように折り合いをつけていくか、区や関係機関と連携しながら検討していくことを課題としている。</p>	株式会社ピーウォッシュ	<p>館事業である「朝散歩」や「夕暮れ散歩」については、募集の時に「通常歩行ができる方」等、参加対象の体力レベルを示して、できるだけ同じ体力レベルの方を集めています。また、低体力の方も参加できるように、事業の中でグループ分けなど工夫をしました。</p> <p>介護予防事業については、体力測定値等による参加基準を設ける事を区に提案しましたが、現在のところは難しいとの回答がありました。</p>	<p>利用者アンケートやご意見を伺って、今後もニーズの高い教室（プログラム）を行っていきます。体力レベルでクラス分けが難しい場合は、指導員を複数体制として、運動の効果を高める工夫と安全に努めます。</p> <p>介護予防事業については、今まで以上にスタッフ間で参加者の情報共有し、事前の申込みの段階でその方に合った教室を案内ができるよう取り組みます。</p>	<p>アンケートや日頃のコミュニケーションにより、利用者のニーズを積極的に把握し、それに応えるためのプログラムを行っています。</p> <p>一人ひとりのレベルに合わせたご案内ができるよう利用者のご意見を伺いながら、事業内容を工夫するなどの取組みを継続して実施するよう指導していきます。また、事業内容の課題については、定期的に指定管理者と協議します。</p>
<p>要介護状態に至るのを防ぐために、今現在の能力をどのように維持し、伸ばしていくかを、継続的に考え、取り組んできた。今後も継続的に、食事の摂取、口腔機能の維持に関する関心を引き出していけるよう、取り組んでいくことを課題としている。</p>	株式会社ピーウォッシュ	<p>ミニ健康講話で「フレイル」について行い、運動する事だけでなく、合わせて食事や口の中のケアが大切であることを伝えました。</p> <p>介護予防事業である「みんなと食と健口講座」に参加対象と思われる方に受講していただくよう、積極的に勧誘しました。</p> <p>新型コロナウイルス感染者の人数が落ち着いていた時期に、食べる事の意識づけとして、喫茶で100円カレーを2回実施しました。</p>	<p>健康講話やミニ健康講話、毎月発行している健康だよりで健康情報を発信していきます。</p> <p>令和4年度も「みんなと食と健口講座」を2クール開催を予定しているので、多くの方に周知してもらおうよう広報を工夫して取り組みます。また、サロン活動（運動交流会）を再開して、食事や口腔機能の大切さを伝えていきます。</p> <p>喫茶では、毎月100円カレーの日を設けて、食べる事の意識づけを行う予定です。</p>	<p>口腔機能の維持については、これまでも様々な取組みを実施してきました。今後も、利用者の関心を引く情報を発信し、「健口」について考える機会をさらに設けるなど、継続して取組むよう指導していきます。</p>